

ソフトウェアテストシンポジウム2011 東京(JaSST'11)プログラム 1/25(1日目)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
セッション0 10:00~10:15 (15分)	A0《15分》 オープニングセッション (JaSST東京実行委員会)					
セッション1 10:15~12:00 (105分)	A1《105分》 基調講演: Testing Trends and Innovations テストインダストリーとイノベーション  Lee Copeland (Software Quality Engineering) ※同時通訳					
休憩 12:30~13:30 (90分)	ネットワークランチサービス & 展示ブースツアー					
セッション2 13:30~15:10 (100分)	テストプロセス ～積善のプロセスに余慶あり～	テストスキル標準:Test.SSF ～玉磨がざれば器を成さず～	テスト初心者向けミニチュートリアル ～そんな知識で大丈夫か? …大丈夫だ、問題ない～	関西 presents テスト実践ワークショップ ～ええんばい、 あんじょうやりましたよ!～	テストツールミニパネル ～食べるツール: 辛そうで辛いテスト自動化～	チュートリアル1
	D2-1《30分》 テスト駆動開発のプロセス解析 中山 裕貴 (佐賀大学)	B2《100分》 テストスキル標準(Test.SSF)の 紹介と活用事例  鈴木 三紀夫 (ASTER) 佐々木 方規 (VIA) 石川 俊一 (VIA) 辰巳 敬三 (ASTER)	C2《100分》 テスト初心者向けセッション ～書籍とめぐる知識の旅～  宮間 直樹 (マルチパラダイムシステムズ) 秋山 浩一 (富士ゼロックス アドバンストテクノロジー)	A2《100分》 決断! 最善の一手  (JaSST関西実行委員会)	E2《100分》 テストツールパネル  モデレータ: 湯本 剛 (日本ビューレット・バックカード) (ASTER)	F2《170分》 チュートリアル1  Exploratory Testing Tutorial 探索的テスト  Lee Copeland (Software Quality Engineering) ※逐次通訳
	D2-2《30分》 テスト実施における作業容易性に 着目したテストケース作成方法の検討 小山 竜治 (富士ゼロックスアドバンストテクノロジー)					
	D2-3《30分》 リスクベーステストの考え方と 品質表現の実践 ～テストでのモックアッププロセスを中心に リスクベーステストを考える～ 永田 敦 (ソニー)					
休憩 15:10~15:40《30分》						
セッション3 15:40~16:40 (60分)	セッション3) テクノロジーセッション					
	A3《60分》 Oracle Testing@Oracle ～The Value of an Integrated Stack to Application Quality～ オラクルの品質管理ソリューション ～アプリケーションの真の 品質管理方法～  Dan Koloski (Oracle Corporation)	C3《60分》 手動でのテストに「革新」をおこせ!  山岡 英明 (日本ビューレット・バックカード)	D3《30分》 ソフトウェア検証の可視化管理 ～可視化がもたらす数々の恩恵～  新川 隆朗 (NEUSOFT Japan)	B3《60分》 ソフトウェアサプライチェーンによって 埋もれた不具合を暴け! ～第三者の作成した ソースコードの品質、 自信を持てますか?  安竹 由起夫 (ニベリテイ日本支社)	E3-1《15分》 Testing as Managed Services (TMS) <sup>TM</sup> for end-to-end Testing ownership  磐城 高一 (ワイプロ・リミテッド)	E3-2《15分》 Cソース単体テストでは分からない 「実装コードレベル単体テストの意義」 （「カバレッジマスターwinAMS」の ご紹介）  沼田 幸治 (ガイオ・テクノロジー)
	E3-3《15分》 Quality Commander と賢者のツール  東 大輔 (日本ノーベル)					
休憩 16:40~17:00《20分》						
セッション4 17:00~18:40 (100分)	テスト設計技法 ～テスト設計の匠: コピは技術と呼ばれないよ～	テスト開発方法論 ～見せてもらおうか、 智美塾の成果とやらを～	テストマネジメント ～JSTQB-ALTMを活用した 上手なテストのマネジメント～	テスト自動化 ～モデルベーステストの胎動～	ライトニングトークス ～とくいました! テストとかけあえ～	
	D4-1《30分》 熟練評価者の知見分析を通じての 安定した品質提供への取り組み 田中 利典 (ポールトゥウィン)	A4《100分》 魁!!智美塾 テストアーキテクチャという 考え方の提案  (智美塾 塾長/二号生/一号生/塾生)	B4《100分》 テストマネジメント入門 ～JSTQB Advanced Levelに基づく 実践的テストマネジメント～  町田 欣史 (NTTデータ) 佐々木 方規 (ベリサーフ)	E4-1《30分》 UWSCを用いた自動回帰テストの評価 増田 隆 (フォーラムエイト)	C4《100分》 ライトニングトークス  司会: 和田 憲明 (JaSST東京実行委員会)	
	D4-2《30分》 原因結果グラフの分割と 影響範囲の局所化に関する考察 ～仕様変更を考慮した 論理関係テスト設計方法～ 加瀬 正樹 (ニフアイ)					
	D4-3《30分》 ツールを利用した組合せテストの展開 ～組合せテスト技術の普及と 状態遷移のある動作テストへの応用～ 大谷 和夫 (東芝ソリューションズ) 久米 智己子 (東芝ソリューションズ)			E4-2《30分》 組込みリアルタイムOS向け テストツールの マルチプロセス拡張 金 ハンソル (デジタルクラブ)		
E4-3《30分》 ソーシャルアプリケーションのテスト法 ～ソーシャルアプリという数を手働ける テストのアプローチ～ 山本 健 (文京工機)						
情報交換会(登録者のみ) 19:00～						

※各セッション会場は当日変更になる場合があります。ただし時間帯は変わりません。

ソフトウェアテストシンポジウム2011 東京(JaSST'11)プログラム 1/26(2日目)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
	レビュー ～3Dであらゆる角度から レビューしよう～	ビューティフルテストイング ～世界の車窓から～	テスト設計コンテスト ～2位じゃダメなんじゃないかっ！～	CEDECコラボ企画 ～ゲーム開発での ソフトウェアテストの実例～	TDDライブ ～テストとアジャイルの クロスカップリング～	チュートリアル2
セッション5 9:30～11:10 (100分)	B5-1(30分) 使い勝手も品質のうち 一使って頂きたいという思いからの 製品作り～ 野村 卓司 (三菱電機システムサービス)	D5(100分) テストのグローバルトレンド ツール/技法/プロセスを通して セッション・プロデューサー: 大西 建児 (ガイオ・テクノロジ) 細谷 泰夫 (XPJUC関西) 松本 晋祐 (ACCESS)	A5(100分) テスト設計コンテスト (JaSST東京実行委員会)	C5(100分) ゲーム開発の世界から ～金をドブに捨てないようにする テスト～ 庄司 卓 (CEDEC2011 プログラマー/リーダー、セガ) 伊藤 周(セガ) 粉川 貴至(セガ)	E5(100分) 新しいTDDアプローチ TDDの新しい活かし方を ライブで見せます！ ディスカッションゲスト: 秋山 浩一 (富士ゼロックスアドバンス テクノロジ) 和田 卓人 (タワーステート株式会社 取締役社長) 咳@ともしぎテストの会議 近江 久美子 (agile.swtest) 小池 輝明 (NECネクサスソリューションズ) TDD研究会	F5(170分) チュートリアル2 テストエンジニアのための ソフトウェア品質会計 菅田 直美 (日本電気)
	B5-2(30分) テスト技術に基づく 設計書品質定量化のための取り組み 朱峰 錦司 (NTTデータ)					
	B5-3(30分) 欠陥エンジニアリングの重要性と 欠陥メタ情報の定義/管理 一欠陥マスターデータベースの普及と 産業寄与に向けた提言～ 細川 宣啓 (日本IBM)					
休憩11:10～11:30(20分)						
	セッション6) テクノロジーセッション					
セッション6) 11:30～12:30 (60分)	B6(60分) テストイノベーション Visual Studio 2010 による 開発ライフサイクル全般にわたる 包括的なテストソリューション ～テストツールはここまで 進化している！ 長沢 智治 (マイクロソフト)	C6(60分) 開発&テスト・クラウドの導入による、 迅速なテスト環境構築と 運用コストの削減 太田 健一郎 (日本IBM)	A6(60分) アプリケーション構造の 複雑さを見える化する 「インバクトスケール®」 のご紹介 田中 珠貴 細谷 隆志 (富士通)	D6(30分) C/C++ソースプログラムの アーキテクチャを見る化 宮野 学 (東陽テクニカ)		
	ネットワークランチサービス & 展示ブースツアー					
休憩 12:30～14:00 (90分)						
セッション7) 14:00～15:30 (90分)	A7(90分) 招待講演 「はやぶさ」をミッション完遂に導いたソフトウェア開発 榎原 弘樹 (NEC東芝スペースシステム)					
セッション8) 15:30～16:00 (30分)	A8(30分) 振り向きセッション (JaSST東京実行委員会)					
休憩16:00～16:10(10分)						
セッション9) 16:10～17:50 (100分)	A9(100分) クロージングパネル: これからの「テスト」の話をしよう ～ソフトウェアテスト白熱教室 in JaSST東京～ パネリスト: Lee Copeland (Software Quality Engineering) 細谷 泰夫 (三菱電機) 湯本 剛 (日本ビューレット・パカード) モデレーター: 西 康晴 (電気通信大学) ※逐次通訳					
	A10(20分) クロージングセッション (JaSST東京実行委員会)					

※各セッション会場は当日変更になる場合があります。ただし時間帯は変わりません。